

# ようこそ!

- JAG 全国協会
- JAG 協同組合
- JAG 財団

# 自立生活の鍵

パーソナルアシスタントの資金調達

コミュニケーションできる法定代理人

あなたの権利を尊重したアクセシブルな  
社会

# JAG 全国協会

- 知的障害者に対する差別をなくす戦い
- 個別化給付と削減に対して法律を守ること

# 自己決定

法定代理人のサポート:

- 子どもの場合は親
- 大人の場合はゴッドマン  
地方裁判所により任命された者

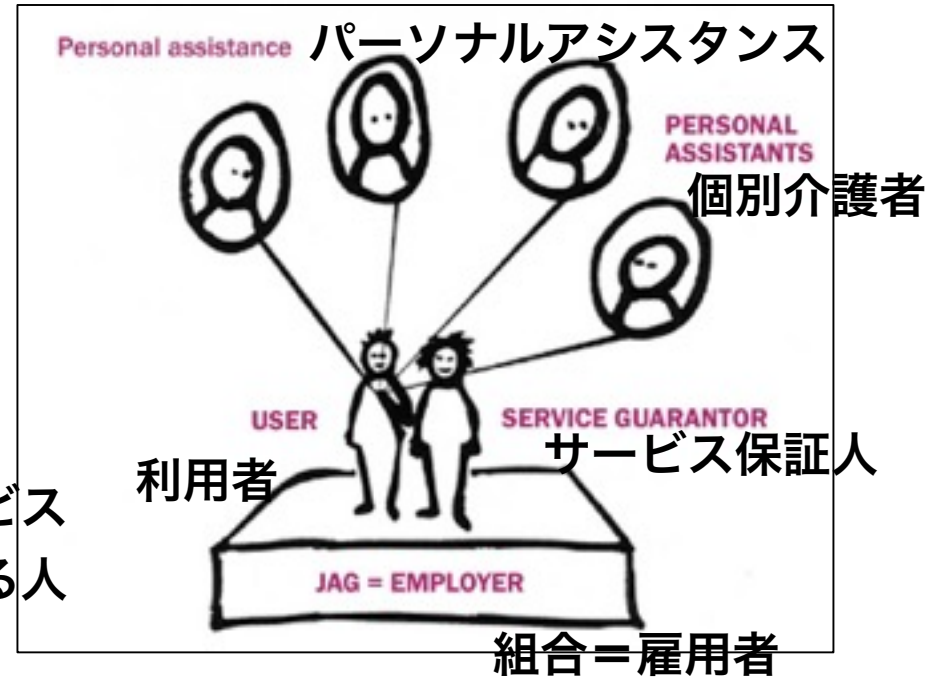
本人の意思決定をサポートすること

## **JAG 協同組合**

- 400人のメンバーのために個別支援を組織化
- 4000人のパーソナルアシスタンスを雇用
- 9,0000万ユーロ（約109億）が財源

## 協同組合のメンバー

- 大人や子ども
- 各2人～20人のパーソナルアシスタント
- 自ら選んだ住宅で生活を送っており一人暮らしか親と同居している

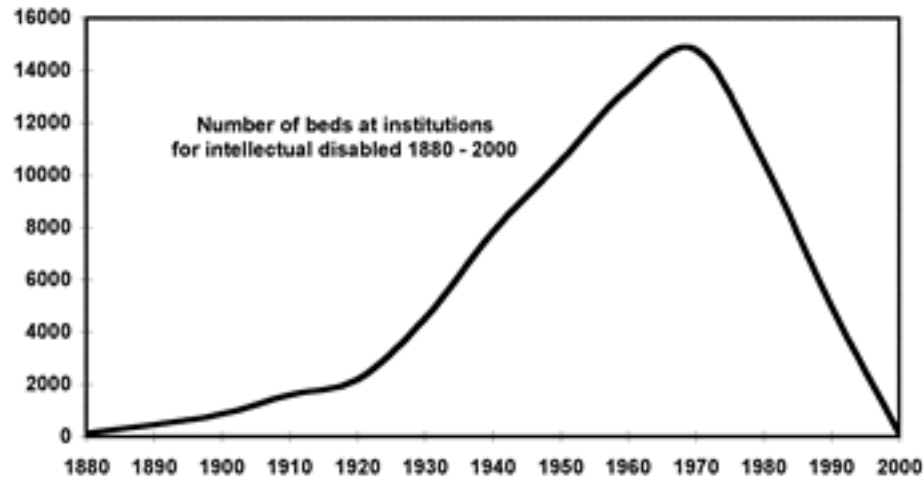


## **JAG 協同組合**

- アシスタントを雇用し供給している
- 法定代理人、アシスタントに対する助言・教育・募集採用・法的紛争解決をサポート



## 知的障害者が入所する施設数



Source:Karl Grunewald

## **LSS (2014年施行)**

**LSS** = 特定の機能障害のある人の支援とサービスに関する法律

- サービスを受ける資格がある定義済み条件
- 定義されたサービス (10)
- 決定に対する不服申立て (上訴)

## LSSの視点

- 公民権
- 措置の対象ではない

### キーワード:

平等 – 参加 – エンパワメント

- 無料
- サービスは個人が契約する

## 対象者

1. 発達障害、知的機能障害、および自閉症または同様の状態の人
2. 暴力や身体疾患により脳が損傷を受けた後、顕著な持続的な知的機能障害のある成人
3. 肉体的または精神的な障害で、通常に加齢に明らかに関連していないものであり、それらが広範囲で日常生活に重大な困難をもたらし、支援またはサービスの必要性をもたらす場合

## パーソナルアシスタント

- 自分でえらぶ
- 自分できめる
- 個人に合う

ユーザーが決める

- 誰に-サポートを求めるか
- いつ-サポートが必要か
- どこで-サポートが必要か
- 何について-サポートが必要か
- どんな方法で-サポートをしてもらうか

## 制度利用の割合

- 週20時間 – 地方自治体が負担
- 週20時間超 – 州（スウェーデン社会保険庁）  
が1時間あたりの補助金を負担
- 上限はなし

## ”基礎ニーズ”

> 週20時間：

- 身体の衛生
- 衣服の着脱
- 食事
- 他者とのコミュニケーション
- 他の適格なニーズ、例えば呼吸障害、てんかん発作、または怒りの発作

## アシスタントの財源

- 社会保険制度による管理
- アシスタントを供給組織
  - 協同組合 (6%)
  - 民間企業 (70%)
  - 地方自治体(21%)
  - 個人雇用 (3%)



## 28ユーロ（1時間あたり）の用途

- 給与と税金
- 時間外労働の支払い
- 報酬（弁護士など）
- 教育
- 管理費
- 人材募集
- 保険
- 新しいアシスタントの仲介
- アシスタントへの継続した教育
- 人件費
- アシスタントの費用